

あすかかんぱにー

## アスカカンパニー(株)

加東市河高4004番地 ☎0795-48-4323



公式サイト

プリンの特容容器や歯磨き粉のふたなどのプラスチック製品を造っているアスカカンパニー。社員の個性を尊重しながらやりがいを持って働けるよう成長の機会を用意しています。

- 👑平成26年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑ユースエール認定企業
- 👑くるみん認定企業
- 👑えるほし認定企業

## 任されながら成長できる会社



「あ！コレ知ってる！」そんな製品を造っている会社です

営業本部プロジェクトマネジメント部の西脇千帆さんは入社6年目。カメラを使った製品チェックシステムを同業者に共有するセミ

ナー講師などの業務に携わっています。「初心者にも分かりやすくを心がけ、参加者からのセミナーを受講してよかったという声が出るようになる」と言います。

入社5年目、管理本部HRグループの畑瀬美早紀さんは入社間もない頃から新卒学生向け会社説明会でのプレゼンの役を任せられました。「年齢が近い社員の生の声に触れてもらい、ありのままを理解してもらおうように努めている」そうで、以前に比べ応募学生数が8倍に増えたそうです。2人に共通するのは、本人の適性を見ながら挑戦の機会を与えてもらい成長している点です。

## 転勤希望も二つ返事で承諾

2020年に結婚した西脇さんは夫の勤務地に合わせ大阪オフィスへの異動希望を上司に伝えたところ二つ返事で承諾されたとのこと。同年4月から大阪オフィスで従来と同じ業務を続けているそうで「個人の状況を尊重してもらえるので、もっと仕事を頑張ろうと思える」と言います。

同様に20年に結婚した畑瀬さんも、都合に合わせて有給休暇が取れるよう上司が気にかけてくれる点をありがたく思っているとのこと。「社長が一人ひとりの状況を把握して声をかけてくれる会社。今後は後輩を指導す



畑瀬美早紀さん(左)と西脇千帆さん

る立場として気を遣える先輩でいたい」と今後の抱負を語っています。

## 企業データ

■設立(創業)/1968年  
■資本金/1億円

■売上高/35億円(2020年10月期)  
■従業員数/245名

■平均年齢/35.5歳



2020年に創業130年を迎えた老舗企業だが女性社員による業務改善プロジェクトなどにより風通しの良い活気ある社風が生まれ、それが新商品を次々に生み出す原動力にもなっている。

🏆 令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

## 社会課題に答える新商品を次々に開発



130周年記念  
キャラクター  
「仔馬のこいちゃん」  
も社員の発案で  
誕生しました

1890年にジュート(黄麻)メーカーとして創業し、麻関連の包装資材などを製造してきました。近年は社会に必要とされる新商品の開発に注力。液体物流容器や農業用資材、緑化資材などで多彩な商品を送り出しています。

小泉康史社長が就任した2015年以降は社員がやりがいを持って働ける風土づくりに着手。コミュニケーションを活発にしながら、女性社員が働きやすい職場づくりを考える業務改善プロジェクトなどを推進してきました。

## 働きやすい仕組みを社員が提案、実現

同プロジェクトでは、一人ひとりの業務を見直して仕事を共有し合える体制を構築。子育て中で時短勤務を利用するCSセンターの小西裕子さんは、「繁忙期でも残業をせずに帰れるようになり、休暇も取りやすくなった」と話します。

社員の声社内制度に反映されることも多い。経営戦略室の福山茜さんは、育休明けに遠方から通勤する同僚を見て「居住地の近くに拠点があればむだなく働けるのでは」とシェアオフィスサービスの利用を会社に提案、2020年3月から導入されました。折からのコロナ禍で活用が進み、在宅勤務にもスムーズにつながられたそうです。チーフの桑

田知子さんは「システムなどを活用し、さらに働きやすい環境を作りたい」と話します。

「一歩踏み出せる環境を整え、社会と社員にとって良い会社に成長させたい」と小泉社長は次なるステップに期待しています。



人の移動を支える道路や鉄道の整備に活用される商品も

### 企業データ

■設立(創業)/1890年  
■資本金/9,800万円

■売上高/73億4,420万円(2021年5月期)  
■従業員数/159名

■平均年齢/42.0歳

こうぼうしゃ

# (株)神防社

神戸市中央区東雲通3丁目4-3 ☎078-241-3505



公式サイト

消防設備の点検・工事を手掛ける神防社では、女性従業員だけで行う消防設備点検サービスを実現させるなど、女性従業員の職域の拡大や管理職への登用を積極的に進めている。

👑令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス表彰企業

👑令和2年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

👑えるぼし認定企業

## 女性だからこそその安心感を提供



建設業界で女性がかっこよく活躍できる会社づくりを目指す

スプリンクラーや消火栓などの消火設備を建物の特性に合わせ設計から施工までを一貫

して手掛ける消防設備工事業として2008年に創業。創業4年目からは、消火設備を設置した建物に義務付けられているメンテナンス事業にも進出しました。

そのメンテナンス事業を担当する永井沙友里さんは21年2月に入社。マンションでは個々の居宅を訪問しての点検作業となるため、女性だと安心して受け入れてもらえるとのこと。「より多くの点検作業に関われることで防災に貢献できていることを実感している」と話します。

## 新規事業のプロジェクトにも参画

同社では近年、防災を軸にした新事業に積極的に進出。災害時にセカンドハウスとして活用できる防災ロッジ販売業（KOBOhut）や、果物や野菜などを真空フライし保存食として使える防災チップス販売もその一つ。永井さんもメンテナンスの仕事の傍ら防災チップスのプロジェクトにも参加しているとのこと。プロジェクトを引っ張る営業・企画事業部の相川沙愛さんのもと「自分が考えていることを受け入れてもらえる雰囲気にやりがいを感じる」といきいきとした表情で語ります。

並里麻依副社長はじめ各部署でも女性が管理職として活躍しており「男女分け隔てなく力を発揮できる風土がある。多様な視点を事



新規事業である防災ロッジ（左）・防災チップス（右）販売業推進の原動力に変えていきたい」と話しています。

### 企業データ

■設立（創業）／2008年

■売上高／16億9,698万円（2020年12月期）

■平均年齢／34.0歳

■資本金／2,000万円

■従業員数／74名



モータ・ポンプメーカーの三相電機は、全員参加型の「改善オリンピック」や現場で働く女性の職場改善を目指すプロジェクトなどを通じ、従業員全員が働きやすい会社を目指している。

👑令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰  
👑令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰  
👑えるぼし認定企業

## 働きやすい職場づくり



田中課長補佐(左)と楠担当課長

産業機器用モータや特注仕様ポンプなどを供給している三相電機。ポンプ技術を応用し、

魚の養殖用に酸素を液体に溶解する装置や、飲料用に海水を淡水化するユニット製品なども手掛けています。

同社では2013年、従業員全員が参加する「改善オリンピック」をスタート。2～3人のチームで毎月1件の改善を行い、それぞれの改善は「整理」「整頓」「清掃」「その他（アイデア、努力など）」の4項目で評価、全ての改善に点数をつけ、評価が分かるようにしています。評価されることで喜びを感じ、達成感を感じている従業員もいます。

## 現場で働く女性の声を活かし職場を改善

さらに現場で働く女性の職場改善のために4年前に発足したのが組立課の「女性改善プロジェクト」。立ち上げメンバーの楠敦子さんと田中夕妃さんは、同時期、女性管理職として課長補佐に昇進しました。プロジェクトでは、重量物を持ち上げやすくするための昇降機の導入や休憩室をフローリング仕様に変え、水槽や緑を置く環境改善などに取り組んでいます。「コミュニケーションをよくしていくことで率直な声を拾い上げ、さらに働きやすくなるようにしていきたい」と2人は話します。

「従業員全員が主役に」を掲げる同社。統括管理部長の榮永悟さんは「男女区別なく、



ミーティング中（女性改善プロジェクト）

従業員の声を活かす取り組みを続けながら、日々前進していく会社でありたい」と話しています。

### 企業データ

■設立（創業）／1957年  
■資本金／8億9,300万円

■売上高／129億2,600万円（2021年3月期）  
■従業員数／360名

■平均年齢／43.0歳

じえーしーあーるふぁーま

## JCRファーマ(株)

芦屋市春日町3-19 ☎0797-32-8591



公式サイト

医薬品開発で躍進を遂げるJCRファーマ。開発、研究職を中心に女性社員が多く、全体でも37%を占めている。管理職に占める女性の割合も10.6%を占め、着実に上昇している。

- 👑令和3年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑くるみん認定企業
- 👑えるぼし認定企業

## 社内保育所の存在で安心して出産



JCRでは、ママ社員が多く活躍しており、仕事と家庭を両立できるよう頑張っています

遺伝子工学などのバイオ技術を用い、希少疾病・難病に特化した医薬品開発に取り組む同社。2021年からは英アストラゼネカ製新型コロナウイルスワクチン原液の受託生産に乗り出すなど事業ステージはさらに飛躍しようとしています。

4歳、1歳の2人の娘を持つ開発本部開発企画部主任の高栞直子さんは、新薬の臨床試験に関わる文書作成業務に関わっています。1人目の出産時は当時所属していた研究本部(神戸市西区)に社内保育所があり、「育休から復帰する時に保育園に入れるかどうかを心配せずに済み安心できた」と話します。

## 週4日の在宅勤務で仕事に集中

3年前に異動した開発本部では「年齢を問わず、何でも言い合える風通しのいい社風」を感じています。20年6月に2人目の出産後に取得した育休から復帰後は週5日中4日の在宅勤務が続いています。「通勤時間の節約になり、仕事も集中できる」とのこと。4月から新たな仕事も加わりやりがいを感じています。「同僚も子育て中の母親が多く働きやすい。部長もその1人で私にとっては憧れの働き方」と話します。同僚の男性社員の中にも育休を取得する動きが増えているそうで、人事企画部 柏原理沙さんは「さらに男性社

員の育休取得を促すことで、より理解し合える働きやすい風土をつくっていきたい」と話しています。



キッズランドでは季節のイベントなども実施しており、お子さんを安心して預けられる環境があります

## 企業データ

■設立(創業)/1975年  
■資本金/90億6,186万円

■売上高/300億8,500万円(2021年3月期)  
■従業員数/719名

■平均年齢/39.9歳



ランドセルメーカーのセイバンは近年取り組んできた生産改革により、定時内で効率よく生産できるようになり、子育てなど時間に制約のある社員でも働きやすい環境が整ってきている。

👑平成30年度 ひょうごオンリーワン企業  
👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

## 支え合い、効率の良い生産が可能に



2020年竣工の新社工場

ランドセルは以前に比べ色、機能などが多様化し、きめ細かい生産が求められるように

なっています。そこで、需要に応じて機動的に生産できるようにする改革に取り組んできました。とくに注力したのが多能工化です。前ポケット、肩ベルトなどのパーツごとにグループ分けし、グループ内の数ある工程はだれでもこなすことができることを目標にしています。また、だれかの作業が滞るとすぐにサポートに回るようにしました。1日の生産目標に向け、定時内で達成する意識が醸成され、時間外労働の削減にもつながりました。

## 「気兼ねなく休めるようになりました」

入社以来、企画、製造部門を経験してきた竹添奈津希さんは男児を出産した後育児休暇を取得。2019年5月に職場復帰を果たし、現在は短時間勤務制度を利用しています。「以前は休むと工程が滞るため休みづらかったのですが今は気にせず休めるようになりました。何よりグループ内で助け合うようになり、さらなる改善に向けコミュニケーションも活発です」と笑顔で話します。

20年7月にはたつの市に新工場が完成し、兵庫県にあった3工場を集約。さらに効率的な生産体制を構築するとともに社員食堂やリ

ラクゼーションルームも導入しており、さらに働きやすい環境を目指します。代表取締役社長の泉貴章さんは、「生産現場の8割は女性。社員全員が支え合ってより気持ちよく働ける環境を整えていきたい」と話しています。

多能工化により育児と仕事を両立できる環境が整ってきたと話す竹添奈津希さん



### 企業データ

■設立(創業) / 1919年  
■資本金 / 4,500万円

■売上高 / 非公開  
■従業員数 / 360名(グループ計)

■平均年齢 / 39.3歳

とーほーぐるーぷ

# トーホーグループ

神戸市東灘区向洋町西5-9 ☎078-845-2400



公式サイト

トーホーグループでは男女分け隔てなく働きやすい環境を整備している。女性のリーダー、管理職も着実に増え、責任とやりがいを感じながら自分らしく働いている。

🏆平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

🏆平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

🏆くるみん認定企業

## 早くから女性活躍支援に注力



神吉里奈さん(中央)がリーダーを務めるチームのメンバー

ホテルやレストランなどの外食産業に業務用食材を販売する、業務用食品卸のリーディングカンパニーとして37都道府県、海外3カ国に展開するほか、食品スーパー「トーホー

ストア」の運営や品質管理サービスなど食のあらゆるシーンを支えています。トーホーグループでは多くの女性が働いており、2005年からは「女性の活躍なくしてトーホーグループの成長なし」をスローガンに、女性活躍を支援しています。14年には昇格に制限があった一般職採用を廃止し総合職に一本化したほか、キャリア意識を醸成するためリーダー管理職候補向けの研修も実施。現在は15年度と比較して女性の管理職・リーダーが約2.5倍、リーダーの候補者層が約2倍まで増えています。

## 理解あるメンバーに囲まれて

グループ会社、トーホーフードサービスの販売促進部メニュー支援チームでチームリーダーを務める神吉里奈さんもその一人。2年前、産休から復帰して半年後にリーダーを任されました。メンバー5人はすべて女性で、飲食店に対し同社の商品を使ったメニューを提案しています。メンバーからは「やってみたいことを受け止めてくれる」と全幅の信頼を寄せられ、神吉さんも「チームで考えた提案が採用されたときがうれしい」と言います。子どもが小さいため時短制度を活用しながらの勤務ですが、会社の支援や理解してくれているメンバーに助けられながら自分らしく働

ける環境で「想いを形にできる」現在の仕事にやりがいを感じています。



食品メーカーの商品だけでなく、トーホーグループオリジナルのプライベートブランド商品も多数開発しています

### 企業データ

■設立(創業)/1947年

■資本金/53億4,477万円

■売上高/1,862億1,700万円(2021年1月期)

■従業員数/4,976名

■平均年齢/43.0歳



日本イーライリリーでは、だれもが自分の目指すキャリアに挑み、それを周囲が応援する風土が浸透しており、管理職に占める女性の割合は30%を超え、製薬業界においてトップレベルだ。

👑令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰  
👑くるみん認定企業

## 早くから女性活躍支援に注力



日本イーライリリー本社(神戸市)外観

2004年から女性活躍推進の取り組みを本格化し、男女ともに活用できる日数制限の

ない在宅勤務制度や豊富に選べる育児・介護短時間勤務制度を導入する一方、リーダー育成のための研修制度の充実を図ってきました。また、上司の理解が重要との考えから、「入社して10年間に女性がキャリアやライフイベントでどのようなことに直面し悩みを抱えるのか、周りにはどんなサポートができるのかといった情報をロードマップで示し、相談しやすい環境を整えています」と人事本部ダイバーシティ&インクルージョン推進部長の安原菜津子さん。その結果、女性管理職の比率は現在30%を超えました。

## 理解あるメンバーと、相談できる環境で

出産を経て21年1月に職場復帰した研究開発本部臨床薬物動態担当の三村花華さんは、働きながらもできるだけ娘のそばにいてあげたいという思いから、周囲の協力も借り5～9時、13～17時を勤務にあてています。「当初はこんな変則的な働き方に理解が得られるだろうか」と不安でしたが、先輩ママ社員から「気にすることはない」と言われ吹っ切れたそうです。三村さんの出席が必要な会議は午後に設定をしてもらい、他の時間は準備や詳細検討などチームで進めるため柔軟に活用しています。また将来の自身が描くキャリアについても、上司から「ぜひチャレンジして



三村花華さん(左)と安原菜津子さん

みるべき」と応援の言葉をもらい、さらなる自身の成長と社会への貢献に向け日々奮闘しています。

### 企業データ

■設立(創業)/1975年

■売上高/2,671億円(2020年12月期)

■平均年齢/40歳

■資本金/127億7,250万円

■従業員数/約2,900名



はんぎ

**(株)阪技**

公式サイト

高砂市荒井町東本町19-23 ☎079-443-4405

同社では経営の中核と位置付ける総務部門で働く社員15人のうち14人を女性が占めている。長い目でキャリアを積んでもらうためにそれぞれの良さを生かせる人材配置に力を入れている。

👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰  
👑令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

## 取引先に感動を与える会社に



女性社員たちの活躍は、会社にイノベーションをもたらす力になると期待されています

大手重工業、重電メーカーの協力企業として、発電機器などの設計から生産技術、品質技術、システム開発まで、ものづくりに関わる一連のサービスを提供している阪技。「ただ依頼された仕事をこなすだけではなく、取引先に感動を与えられる会社に」と後藤純次社長。そのためにその人の良さを生かせる人材の配置に注力し、「自分自身で考え、行動できる」人材の育成に努めています。

## それぞれの良さを生かして社員が輝けるように

新入社員は3カ月程度の研修を経た後に、現場で2次研修に臨み、それぞれの良さを伸ばせる場所を見極めたうえで配属が決まります。入社2年目の四谷成子さんは人事に関するAI開発を行っています。Python(パイソン)によるデータ分析や予測に積極的に挑戦しており、「得意な数学を存分に生かしている」と感じているそうです。また、新入社員研修にも携わっており、一人一人の良さを見いだす取り組みにも力を入れています。

入社3年目の黒崎充香子さんはデザイン分野を学んだ経験を生かし、社内外の発信媒体のデザインのほか議事録を分かりやすく可視

化するグラフィックレコーディングの仕事を任されています。「会社の方針を社員に分かりやすく伝える仕事にやりがいを感じる」と黒崎さん。「出産を経て復帰いきいき働いているロールモデルになる先輩をお手本にしながら働き続けたい」と二人はともにこの会社でのキャリアアップを思い描いています。



阪技は「自ら考えて動く人」を求めています

## 企業データ

■設立(創業)/1981年  
■資本金/1,000万円

■売上高/17億円(2020年12月期)  
■従業員数/247名

■平均年齢/36.5歳



カタログやオンラインでファッション、生活雑貨を販売するフェリシモ。近年は男性社員による育児休業を取得するケースも増え、仕事と生活を両立する風土が根付いている。

- 🏆平成23年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 🏆くるみん認定企業

## 若手・中堅にリーダーを任せ、成長の場に



柏木花菜子さん(右から2人目)と「イディット」チームのメンバー。育児をこなしながら仕事でも輝いています

30～40代女性向け服飾雑貨カタログ「イディット」で商品企画を担当する柏木花菜子さんには高1の息子、小6の娘がいます。そもそも就職活動の際、「結婚、出産しても働

き続けられること」を条件に会社を選び、入社したとのこと。第1、2子の出産ともに育児休業を取得し、短時間勤務制度やフレックスタイム制度を活用しながら育児と仕事を両立してきました。

パートを含めると全従業員の85%以上が女性の同社。中でも柏木さんが籍を置く「イディット企画チーム」はメンバー10人中9人が女性で、うち5人が出産を経て職場復帰を果たしています。「だれかが急な子どもの病気で有休を取らざるを得ないときでもお互いさまの気持ちでいられます」。また、柏木さんは、現在、「MEDE19F」というブランドのリーダーもしており、同社では若手、中堅、女性、男性に関わらず、リーダーをまかせ、従業員の成長機会としています。

## それぞれの働き方を支えられるように

商品のターゲット世代と重なるだけに自身普段感じることをそのまま企画に生かしヒット商品を送り出している柏木さんは「これからも好きな企画に携っていきたい」と考えています。自らも以前、育児休業を取得した総務部の山崎力さんは「柔軟な発想を生み出し、働きがいを感じられるような制度を考えていきたい」と、従業員がより働きやすいよう後押ししていく考えです。



フェリシモ オリジナル商品

### 企業データ

■設立(創業)/1965年  
■資本金/18億6,800万円

■売上高/332億6,000万円(2021年2月期)  
■従業員数/762名

■平均年齢/43.1歳